



被爆70周年  
被爆70周年  
記念事業

被爆70周年記念事業 広島・長崎連携事業

入場無料

# 企画展「つながる、つたえる ヒロシマ・ナガサキ」

被爆から70年を迎える今夏、あらためて「ヒロシマ・ナガサキ」について  
知ること、伝えていくことを考えてみませんか

開催期間

平成27年7月11日(土)～8月30日(日)

【期間中の休館日】月曜日(7月20日を除く)、7月21日(火)、7月31日(金)

【期間中の開館時間】火～金/9:00～19:00、土・日・7月20日(月)・8月6日(木)/9:00～18:00

会場

広島市立中央図書館 (広島市中区基町3番1号)

## 連続講座「ヒロシマ・ナガサキを知り、伝える」

7月26日(日)、8月2日(日)、8月7日(金)

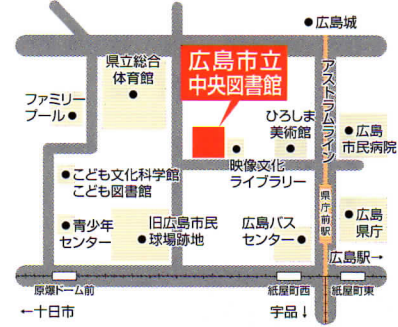
※要申込・先着順・1回のみ参加可 [詳細については裏面をご覧ください](#)

### 長崎でも「ヒロシマ」を伝えます

広島市立中央図書館と連携し、長崎市立図書館では  
企画展「つながる、つたえる、ナガサキ・ヒロシマ」(8月5日(水)～17日(月))をはじめ、  
連続講座やパネル展示を開催します。

問合せ/長崎市立図書館 TEL:095-829-4946

中央図書館案内図



主催/広島市立中央図書館 長崎市立図書館  
協力/広島平和記念資料館、広島市公文書館、長崎市永井隆記念館、長崎原爆資料館、広島市立広島商業高等学校、長崎市立長崎商業高等学校



被爆から70年を迎え、被爆者からその体験を直接聞くことのできる機会が少なくなりつつあります。これからの被爆体験の継承は、被爆体験のない世代がその役割を担っていかなくてはなりません。

実際に経験していないことを、同じく経験していない人へ伝えていくためには、幅広い視点を持ち、より詳しく「知る」ことが必要ではないでしょうか。

この度、世界でただ二つの被爆地である広島市と長崎市の図書館が初めて連携し、「ヒロシマ・ナガサキ」について「知る」ための企画展と連続講座を開催します。

## 企画展／2階 展示ホール

### 「ヒロシマ・ナガサキを知る」

- 広島と長崎の被爆の実相について伝える資料の展示
- 原爆がもたらした被害や悲惨さを伝える文学作品や手記の展示
- 「永井隆博士」「浦上天主堂」「新興善国民学校救護所」に焦点をあてた「ナガサキを知る」展示

### 「平和への願いをつなぐ」

- 広島と長崎の式典の沿革
- 広島と長崎に住む若い世代が交流し、連携して取り組む平和への願いを込めた活動の紹介
- アオギリとクスノキの被爆から植樹を広める取り組みの紹介



『屍の街』大田洋子／著  
中央公論社



『原爆詩集』峰三吉／著  
われらの詩の会



『われなお生きてあり』  
福田須磨子／著  
筑摩書房



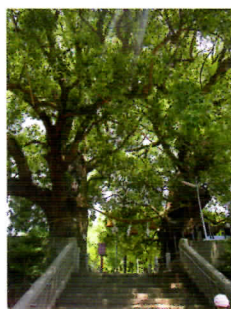
『原爆句抄』松尾あつゆき／著  
文化評論出版



「親子3人笑顔で団らん」  
(長崎市永井隆記念館所蔵)



「第3回平和祭ポスター」  
(広島市公文書館所蔵)



被爆クスノキ  
(長崎市山王神社)



『原爆の子』長田新／編  
岩波書店



『原子雲の下に生きて』  
永井隆／編 中央出版社

## 連続講座／3階 セミナー室

### 「ヒロシマ・ナガサキを知り、伝える」

第1回 7月26日(日)	「広島と長崎の被爆と復興」 講 師 桐谷多恵子氏 (広島市立大学 広島平和研究所講師)	両市の被爆と復興状況の共通点や違いについて、お話しさせていただきます。
第2回 8月2日(日)	「永井隆博士が遺したこと」 講 師 永井徳三郎氏 (長崎市 永井隆記念館館長)	長崎から発信される「平和への願い」に欠かすことのできない永井隆博士が遺した思いと功績について、お話しさせていただきます。
第3回 8月7日(金)	「聞き、つなげるヒロシマ・ナガサキの思い」 証 言 永野悦子氏 (長崎平和推進協会 継承部会員) 朗 読 ひろしま音読の会	長崎市で被爆し、20年間証言活動を続けている永野悦子氏による証言と、ひろしま音読の会の皆さんに、手記などを朗読していただきます。

◆時間／各回とも14:00～16:00 ※要申込・先着順(各回とも定員60名)・1回のみ参加も可

◆申込／来館、電話、FAX、図書館HP専用フォーム(7月1日(水)9:00より受付)

お問い合わせ  
講座の申込み

広島市立中央図書館

広島市中区基町3番1号  
TEL082-222-5542 FAX082-222-5545  
URL <http://www.library.city.hiroshima.jp/>